

日出町告示第84号

平成25年第4回日出町議会定例会を次のとおり招集する

平成25年11月28日

日出町長 工藤 義見

1 期 日 平成25年12月5日

2 場 所 日出町議会議事堂

○開会日に応招した議員

土田 亮治君	池田 淳子君
藤井 博幸君	工藤 健次君
安部 三郎君	田原 忠一君
森 昭人君	後藤 佑君
白水 昭義君	佐藤 隆信君
熊谷 健作君	佐藤 二郎君
城 美津夫君	佐藤 克幸君
笠置 久夫君	佐野 故雄君

○12月9日に応招した議員

○12月10日に応招した議員

○12月20日に応招した議員

○応招しなかった議員

なし

平成25年 第4回(定例)日出町議会会議録(第1日)

平成25年12月5日(木曜日)

議事日程(第1号)

平成25年12月5日 午前10時00分開会

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 発委第8号 日出町水道水源保護条例の制定について

日程第7 議案第63号 平成25年度日出町一般会計補正会計(第4号)について

日程第8 議案第64号 平成25年度日出町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
について

日程第9 議案第65号 平成25年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
について

日程第10 議案第66号 平成25年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
について

日程第11 議案第67号 工事委託に関する協定の締結について

趣旨説明並びに提案理由の説明

散会の宣告

本日の会議に付した事件

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

- 日程第6 発委第8号 日出町水道水源保護条例の制定について
- 日程第7 議案第63号 平成25年度日出町一般会計補正会計(第4号)について
- 日程第8 議案第64号 平成25年度日出町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- 日程第9 議案第65号 平成25年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について
- 日程第10 議案第66号 平成25年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について
- 日程第11 議案第67号 工事委託に関する協定の締結について
趣旨説明並びに提案理由の説明
散会の宣告

出席議員(13名)

1番	土田 亮治君	2番	池田 淳子君
3番	藤井 博幸君	4番	工藤 健次君
5番	安部 三郎君	6番	田原 忠一君
7番	森 昭人君	8番	後藤 佑君
10番	佐藤 隆信君	11番	熊谷 健作君
12番	佐藤 二郎君	14番	佐藤 克幸君
16番	佐野 故雄君		

欠席議員(3名)

9番	白水 昭義君	13番	城 美津夫君
15番	笠置 久夫君		

欠 員(なし)

事務局出席職員職氏名

局長	工藤都四男君	次長	安田加津浩君
----	--------	----	--------

説明のため出席した者の職氏名

町長	工藤 義見君	副町長	今宮 禮二君
教育長	西野 智行君	会計管理者	小野裕一郎君
総務課長	村井 栄一君	財政課長	川野 敏治君
政策推進課長	井川 功一君	契約検査室長	川西 求一君
税務課長	脇 英訓君	住民課長	佐藤久美子君
福祉対策課長	原田 秀正君	健康増進課長	高倉 伸介君
生活環境課長	佐藤 寛爾君	商工観光課長	河野 晋一君
農林水産課長	岡野 修二君	都市建設課長	村岡 政廣君
上下水道課長	大塚 一路君	農委事務局長	野上 悟君
教育委員会教育総務課長	宇都宮敏樹君	教育委員会学校教育課長	恒川 英志君
生涯学習課長	宮本 洋二君	代表監査委員	阿部 長夫君
監査事務局長	岩尾 修一君	総務課長補佐	藤本 英示君
財政課長補佐	帯刀 志朗君		

午前10時00分開会

○議長（佐野 故雄君） 皆さん、おはようございます。平成25年第4回日出町議会定例会を開催するに当たり、一言御挨拶申し上げます。

議員各位におかれましては、何かと御多用のところ御出席を賜り、まことに御苦勞に存じます。今期定例会に提案されています議案につきましては、後ほど説明がありますが、議案6件が提出されています。議員各位には慎重に御審議を賜り、適切な議決をいただくとともに、議会運営全般にわたり格別の御配慮と御協力をお願いいたしまして、挨拶といたします。

開会、開議の宣告

○議長（佐野 故雄君） ただいまの出席議員は13名です。定足数に達していますので、平成25年第4回日出町議会定例会を開会します。

これより、本日の会議を開きます。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（佐野 故雄君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、1番、土田亮治君、14番、佐藤克幸君を指名します。

日程第2. 会期の決定

○議長（佐野 故雄君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、先月28日の議会運営委員会において、本日から12月20日までの16日間という案を作成しましたが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐野 故雄君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から12月20日までの16日間に決定しました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（佐野 故雄君） 日程第3、諸般の報告を行います。

大分県町村議会議長会主催の研修会について報告いたします。

去る10月18日、玖珠町のメルサンホールにおいて行われました議員研修会は、大分大学名誉教授の日高貢一郎氏を講師に「方言は暮らしのことば」と題して、大分県の方言の特徴や、方言と共通語の違い等を具体的例を示してわかりやすくお話ししていただきました。

次に、11月13日に行われました第57回町村議会議長会全国大会が渋谷のNHKホールにおいて開催され、県内の議長とともに出席しましたので、その概要について報告いたします。

大会は、全国の関係者約1,700人が出席する中、「真の分権型社会の実現を目指して」をメインテーマに事務総長の司会により開幕し、国歌斉唱の後、全国町村議会議長会会長が挨拶に立ち、被災地の再生と景気回復のための迅速な対応をお願いすること、さらなる地方分権改革を強力に進めること、強制合併につながる道州制や町村の存在を否定するような道州制については、引き続き断固反対していくことなどを訴えました。

来賓祝辞では、安倍晋三内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、総務大臣ほか多数の御祝辞をいただきました。来賓祝辞の後、議事に入り、東日本大震災からの復興及び大規模災害対策の確立に期するなど16項目に及ぶ内容の決議1件、東日本大震災からの復興と大規模災害対策の確立に関する特別決議を初めとする特別決議5件、一般要望24件、各地区要望9件など提案されました。決議、要望は満場一致で採択され、大会を終了いたしました。

大会終了後、群馬大学の片田敏孝教授から「想定を超える災害にどう備えるか」と題して特別講演があり、充実した大会でありました。

次に、平成25年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の概要について、同組合議会議員、佐藤隆信君に報告をお願いします。10番。

○議員（10番 佐藤 隆信君） 委員長報告を行います。

○議長（佐野 故雄君） 違うやろ。広域圏の報告。

○議員（10番 佐藤 隆信君） 私、言われてなかったよ、広域圏は。（「言われたやろう」と呼ぶ者あり）言われてねえちゃ。（中断）広域が言うてくるんじゃないろうと思うて。（中断）平成25年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の報告を行います。笠置久夫議員が病気のために行います。

去る10月15日火曜日、開会されました平成25年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会につきまして、その概要を報告いたします。

別府市議会議事堂におきまして、午前10時から本会議が開催され、会期上程されました議案は、議第12号平成25年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合藤ヶ谷清掃センター事業特別会計補正予算（第2号）、議第13号平成24年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について、以上2議案であります。

議第12号平成25年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合藤ヶ谷清掃センター事業特別会計補正予算（第2号）では、歳入歳出予算にそれぞれ200万円を追加し、総額で53億5,548万7千円としております。

歳入では、繰越金200万円の追加計上で、これは地方自治法第233条の2の規定により、平成24年度決算上の剰余金を繰越金として、平成25年度歳入予算に編入し、追加額であります。

歳出では、諸費、基金積立金200万円の追加計上で、これは地方財政法第7条の規定により、平成24年度決算上の剰余金を財政調整基金に積み立てるための追加額であります。

議第13号平成24年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定については、一般会計では、予算規模14億7,800万円に対しましては、歳入決算額13億9,194万8,623円、歳出決算額13億9,194万8,623円となっており、歳入歳出差し引き額は0円であり、翌年度繰り越す財源はないため実質収支額は0円であります。

次に、特別養護老人ホーム広寿苑事業特別会計ですが、予算現額4億9,585万1千円に対しまして、歳入決算額4億9,585万926円、歳出決算額4億9,585万926円となっております。歳入歳出差し引き額は0円であり、翌年への繰り越す財源はないため実質収支額は0円であります。

次に、秋草葬斎場事業特別会計であります。予算現額8千万円に対しまして、歳入決算額7,699万1,806円、歳出決算額7,699万1,806円となっており、歳入歳出差し引き額は0円であります。翌年度への繰り越す財源はないため実質収支額は0円であります。

次に、藤ヶ谷清掃センター事業特別会計ですが、予算現額50億8,247万9千円に対しまして、歳入決算額50億46万2,971円、歳出決算額49億9,846万2,971円となっており、歳入歳出差し引き額は200万円であり、翌年度への繰り越す財源はないため実質収支

額は同額となっております。

最後に、介護認定審査会事業特別会計ですが、予算現額3,150万円に対しまして、歳入決算額2,660万6,691円、歳出決算額2,660万6,691円となっており、歳入歳出差し引き額は0円であり、翌年度への繰り越す財源はないため実質収支額は0円となっております。

以上、2議案は、福祉、環境衛生の各委員会審査を経て、議第12号は全員異議なく原案のとおり可決、議第13号は賛成多数により原案のとおり認定されました。

以上、平成25年第2回杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の報告を終わります。済みません、申しわけありませんでした。

○議長（佐野 故雄君） 次に、平成25年第2回杵速見環境浄化組合議会定例会の概要について、同組合副議長、工藤健次君に報告を願います。4番。

○議員（4番 工藤 健次君） 平成25年第2回杵速見環境浄化組合議会定例会が、去る11月27日、日出町議会議事堂で開催されましたので、その概要を御報告申し上げます。

本定例会に上程されました案件は、議案1件、認定1件であります。

まず、議案第4号平成25年度杵速見環境浄化組合会計補正予算（第1号）についてであります。

補正額は392万円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億6,012万円とするものであります。

この補正は、施設機器等の点検修理が主なものであります。

次に、認定第1号平成24年度杵速見環境浄化組合会計歳入歳出決算の認定についてであります。

収入済み額の2億1,644万5,348円に対し、支出済み額2億1,252万4,344円あります。収入済み額から支出済み額を差し引いた実質収支額は392万1,004円で、その全額を翌年度に繰り越すものであります。

また、監査委員から予算執行、決算処理とも適切に事務処理されている旨の審査報告がありました。

以上、上程されました議案1件、認定1件につきましては、審議の結果、全員一致で原案のとおり可決いたしました。

以上、甚だ簡単ですが、平成25年第2回杵速見環境浄化組合議会定例会の報告を終わります。

○議長（佐野 故雄君） 以上で、諸般の報告を終わります。

日程第4. 行政報告

○議長（佐野 故雄君） 日程第4、行政報告を行います。町長、工藤義見君。

○町長（工藤 義見君） おはようございます。本日、平成25年第4回日出町議会定例会を開催するに当たり御通知申し上げましたところ、議員の皆様には何かと御多忙のところ御出席を賜り、御審議いただきますことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

それでは、行政報告を申し上げます。

まず、全国女性消防操法大会についてであります。

10月17日、横浜市で開催された第21回全国女性消防操法大会に大分県代表として日出町消防団の女性部、女性団員7名が出場いたしました。選手たちは日出町消防署員や県消防学校教官らの指導を受け、6月から4カ月間にわたり訓練を重ねてまいりました。選手全員が小型ポンプ操法の経験がなく、また、練習期間も短かったにもかかわらず、初出場ながら全国で第29位という成績をおさめて帰ってまいりました。これを期に消防団女性部の活動がますます活発化し、安全・安心のまちづくりに大いに寄与してくれるものと期待いたしております。

次に、第8回「ザビエルの道」ウォーキング大会についてであります。

キリスト教の宣教師フランシスコ・ザビエルが通ったとされるいにしへの道をたどる第8回「ザビエルの道」ウォーキング大会を10月20日に開催いたしました。本大会は、自然と歴史との触れ合いを体験しながら健康増進につなげることを目的として平成18年に始まり、今回で8回目を迎えました。毎回多くの方々の御参加をいただきウォーキングで汗を流しながら、日出町の自然や歴史を楽しんでいただいております。

大会当日はあいにくの雨模様であったため、一部コースの変更を行いましたが439名の方々が参加し、自然豊かな日出町の風光に親しみながら、爽やかな汗を流しました。

また、今年は大会に合わせて「ごみゼロキャラバン」も実施され、キャラバンの参加者は城下公園周辺のウォーキングコースを歩きながらごみ拾いを行い、多くの散乱するごみの回収を行いました。

本大会に協賛いただきました町内外の企業、事業所の方々にお礼を申し上げますとともに、大会運営に御尽力いただきました関係の皆様方に心より感謝申し上げます。

次に、日出町功労者表彰式についてであります。

文化の日の11月3日、中央公民館におきまして、永年にわたり日出町の振興と発展に御尽力をいただいた方々の御功績に敬意と感謝の意を表するため、日出町功労者表彰式を行いました。

今年は、地方自治、地方医療、商工振興、教育文化の各部門において、個人9名、2団体の方へ表彰状と記念品をお送りいたしました。

次に、2013ひじ文化まつりについてであります。

日出町中央公民館及びその周辺において、11月2日から3日間、2013ひじ文化まつりを

開催いたしました。秋晴れのもと、講演会や瀧廉太郎記念音楽会、芸能大会を初め、体育館内ではすぐれた美術、工芸、文化などの多くの作品展が、そして屋外では菊花展などが開催されました。

初日の講演会では、静岡大学名誉教授の小和田哲男氏に「日本人は歴史から何を学ぶべきか」という演題で講演をいただき、貴重なお話をお聞きすることができました。

祭りの期間中の3日間とも会場は多くの観覧者で終日にぎわいを見せ、今年の文化まつりも盛会裏に終了いたしました。

次に、日出町福祉健康推進大会についてであります。

11月12日、中央公民館におきまして、第8回日出町福祉健康推進大会を関係者約230人の出席のもとに開催いたしました。少子化、高齢化が進む中、いつまでも健康で、そして誰もが住みよいまちづくりを進めるために、日出町と社会福祉協議会、老人クラブ連合会の共催で開催いたしました。

大会では、ダイヤモンド婚、金婚、在宅介護賞、明るい子育て支援大賞、福祉功労賞、明るい高年賞などの表彰の後、「それぞれの地域でお互いに手を携え思いやり、一人一人のよりよい生活をみんなで支える福祉コミュニティーの実現に向けて邁進する」との大会宣言が採択されました。

受賞された方々のますますの御健康、御活躍を御祈念申し上げる次第であります。

次に、ホンダ太陽日出工場の増設についてであります。

11月13日、自動車やオートバイの部品製造を行っておりますホンダ太陽が、日出工場の敷地内にデータビジネス棟を新設すると発表いたしました。成長分野と位置づけるデータ処理業務の拡大、強化を図るため、データビジネス棟を増設し、それに伴い30人の新規雇用をすることとしております。これにより、日出町における雇用の創出と福祉のまちづくりの両方面において、よい影響があるものではないかと期待しているところであります。

次に、第26回ひじ産業まつりについてであります。

11月23日に中央公民館を主会場として、第26回ひじ産業まつりを開催いたしました。屋外会場では苗木の無料配布や日出町産の新鮮な野菜、海産物の直売コーナーを初め、餅つき等の実演販売が行われ、体育館においては町内の企業等の紹介コーナーや体験コーナー等が設けられ、多くの方々でにぎわいを見せたお祭りとなりました。

ひじ産業まつりの開催に携わった関係者の方々の御協力に感謝申し上げます。

また、この開会セレモニーの中で、宮城県亘理町への支援物資出発式をとり行いました。

今回で3回目の支援物資の輸送となりますが、軒ノ井生産組合に委託して生産しましたモチ米5キロ入り605袋で約3トン、日出町で購入した温州ミカンとJAべっぷ日出より寄贈を受け

た温州ミカン5キロ箱300箱で1.5トン、公民館和裁教室メンバー手づくりの綿入れはんてんを43着、獅子舞に使う獅子頭一対をお送りいたしました。

いまだに仮設住宅での生活を余儀なくされている方々がいらっしゃるのが現状であります、一日も早い復興をお祈りする次第であります。

次に、津波被害防災視察研修についてであります。

11月24日から26日までの3日間、区長、消防士、町立学校教員、役場職員が合同で津波被害防災視察研修を実施いたしました。

この事業は、地域や学校で防災リーダーとなる人材を育成するため、実際の被災地を視察し、防災対策及び復興状況を体験し、被災した現地の方々の話を直接聞くことで、自主防災組織の組織強化及び地域防災力の向上を図ることを目的として実施したものであります。参加者は、現地での体験を地元を持ち帰り報告会を開催するとともに、広く防災に関する啓発活動を行うなど、地域の防災力の向上に関する責務を負うことになっております。この研修事業を契機に各地区の防災リーダーが育成され、地域での防災力が向上することを大いに期待しております。

以上、甚だ簡単であります、行政報告とさせていただきます。

○議長（佐野 故雄君） 行政報告が終わりました。

地方自治法第121条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めましたので、御報告します。

日程第5. 委員長報告

○議長（佐野 故雄君） 日程第5、委員長報告を行います。

平成25年第3回定例会において、閉会中の審査に付されました所管事務調査などの結果について報告を求めます。総務常任委員会副委員長 佐藤隆信君。10番。

○総務常任副委員長（佐藤 隆信君） 総務常任委員会の報告を行います。

委員長が病気のため、副委員長の私がかわって委員会の報告を行います。

総務常任委員会は、閉会中の去る10月28日と11月15日の2日間、委員全員出席のもと、町長、関係課長出席のもと、メガソーラー立地予定地の現地視察並びにふれあいセンターの運営について、また、所管各課事務調査を行いました。その報告を申し上げます。

まず、10月28日、委員全員出席、町長、政策推進課長も参加し、藤原西部地区のメガソーラー立地予定地と藤原一北の、もう現在立地されている現地を視察しました。藤原西部地区では区長並びに関係住民も参加し、住民からは、立地されたら事故の起きる可能性について詳細な説明があり、委員会としては、この地域の立地は大変な被害をもたらすおそれがあると認識し、立地をさせてはならないと思いました。

次に、11月15日の委員会は委員全員出席、町長、関係課長並びに生涯学習課、教育長出席のもと、ふれあいセンターの運営について調査を行いました。

ふれあいセンターについては、これまで継続審議を行ってきました。問題点は、ふれあいセンターができて6年間も、ふれあいセンター本来の活動ができていないのではないかと、各課がたびたびかわるのが問題ではないかと。また、総務課、生涯学習課と2課にまたがっているのが問題ではないかと、公民館活動の一環としてはどうかと。また、公民館の職員を1人配置して、非常勤と合わせて2名の配置をして、地区全体のあらゆる仕事をさせたらどうかと。また、現在、貸し館業務だけになっているふれあいセンターをなくしたらどうかなどの意見がありました。町長からは、災害や防災の問題などがあるので公民館へ一本化はできない、現在ある地区公民館長に責任を持ってもらいたいと。また、手当を2倍、3倍も上げてよいなどの発言がありましたが、結論に至らず継続審議となりました。

その他の所管各課の事務調査については、政策推進課より、合併60周年に当たり、日出町町民憲章の制定についてスケジュール案が提案されました。

また、日出町発電施設整備事業要綱案については概要の説明を受けました。施行日は、平成26年1月1日の予定としているとのことです。

財政課より、旧土地連事務所土地建物について、10月28日契約、同日登記終了の報告がありました。購入金額、2,970万円、資金は土地開発基金を充てるそうです。

税務課より、平成25年町税収納状況、10月現在の報告がありました。

契約検査室より、平成25年月別契約検査状況を報告されました。契約、3・四半期、10月から11月まで90%の目標で、現在70%までできているので順調な推進状況であるとの報告がありました。

簡単であります、以上で総務常任委員会の報告を終わらせていただきます。

○議長（佐野 故雄君） 次に、産業建設常任委員会委員長 藤井博幸君。3番。

○産業建設常任委員長（藤井 博幸君） 産業建設常任委員会の御報告をします。

閉会中の10月18日午前10時から、委員全員出席のもと、町長、総務課長、生活環境課長、上下水道課長の出席を求め、水道水源保護条例の改正について、8月2日開催の全員協議会での意見、9月末に検察庁から戻りました回答により指摘された部分の修正をした最終案の説明を執行部に行い了承されました。

本件は、10月25日、全員協議会において説明し、第4回定例会において委員発委で提出する旨を説明し了承していただいております。

10月8日、委員全員出席のもと、町長、所管課長の出席を求め、所管事務調査を行いましたので報告します。

まず、商工観光課より、10月31日に開催されました暘谷駅・高校跡地利活用事業提案審査委員会の報告がありました。

審査委員会での要望は、建物のデザインに配慮してほしい、駅前の一等地であり、2階以上に公共施設を、地場企業が入れないか、テナントにおいても商工会に加入してほしい、飲食店や別府からも人を呼べる魅力あるテナントの誘致、託児所を設けてほしい等の意見が出ました。

このことで、今回提案されました件は基本的に了承されたと思うとのことで、要望は提案事業者へ伝えるとのことでした。

また、町長より、これまでの経過説明があり、複合公共施設の併設案はたくさんあり、行いたいのはやまやまではあるが、共同ですとかえって混乱を招き、権利関係や町財政の長期見直しから莫大な費用をかけるわけにはいかず、この案が最適であると思っているとのことでした。我々は、最後の一等地の利用には慎重にお願いしたい旨を伝えております。

次に、第8回「ザビエルの道」ウォーキング大会が10月20日に行われましたが、朝方の雨で昨年より100名ほど参加者が減り、参加者は439名であったとのことです。一因としては山香コースがなくなったのもあるのではないかということです。

ホンダ太陽の増設計画について、11月13日に県庁において表明されました投資額1億7,500万円、着工は26年1月で、竣工は26年7月になるとのことです。30名ほどの新規採用をし、テキサスからも5名ほどの採用があったそうです。今回の増設計画で別府の工場を日出工場に集約し、本社を日出にしたとのことです。

また、シルバー人材センター運営状況について、大口の顧客が減り、昨年同期比で10月の売り上げが減ったとのこと、要因は先方の要望との内容の食い違いであったとのことです。

的山荘指定管理者からは、24年度分で利益が出たので繰入金があったとのことです。

次に、都市建設課より、糸ヶ浜、黒岩、辻間南児童公園内に設置している木製遊具が老朽化により危険なため、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業国庫補助率2分の1により更新する。発注方式は、公園ごとに、6業者の中から最もすぐれた提案を選ぶ指名型プロポーザル方式で、区長やPTA、保護者からなる審査委員会で決定したものを採用したとのことです。

開発、承認、許可の動向について説明があり、平成21年から25年10月までに宅地分譲が11件93区画の申請が出され、内野尖り地区は88区画で、26年2月に完成を目指しているとのことです。

また、開発に当たり交通量がふえる臨海大橋に街灯の整備をお願いしたいと県に要望したそうです。委員より、今後の交通量増加に対応した信号機や道路の形状等の整備をお願いしたところでは。

旧高校跡地の造成工事について、県から、まだ開発許可がおりておらず、11月下旬までに許

可を受け、26年3月までに完成予定であるとのことでした。

次に、農林水産課より、有害鳥獣捕獲状況の説明を受けました。ことしは夏が暑かったので餌が不足したのか、箱わなでの捕獲も多かったとのことでした。

イノシシ被害防止用電気柵設置補助事業では、ことしは22基の申請があり、一通り行き届いたのではないかと考えているとのことでした。

また、日出町の水田農業について、町の水田面積は523ヘクタールであり、減反政策に対する町の割り当て面積は303ヘクタール、現在、主食用米として290ヘクタールで生産されており、減反目標は達成されているとのことですが、日出町で消費される米を生産するには450ヘクタールが必要であるとのことでした。

次に、ひじ産業まつりについて詳細の説明を受けました。特に駐車場の件では、高校跡地の盛り土部分が使用できないので、各事業所へお願いし台数確保に努めているとのことでした。

次に、上下水道課より、収納状況の説明があり、5カ年分の滞納が355件3千万円ほどあり、滞納対策として給水停止措置について経過の説明を受けました。1カ月半かけて行い、徴収額は500万円で、滞納額の16.6%が納付されたと報告を受けました。

また、停水したのは7件で、アパートが多く居所不明であったということで、水道水は住民生活においては重要なインフラ施設であるため、停水を行すに当たり慎重に対応したとのことでした。委員より、嫌がられる業務ですが、徴収に今後も頑張ってくださいよう激励しました。

次に、農業委員会より、太陽光発電施設への申請件数の報告を受けました。竣工合計が20カ所、4万3,375平方メートルで、転用申請分で未着工が9カ所、3万5,856平方メートルあるとのことでした。

また、委員より、農地の利用促進に貸してはどうかとの質問に、農林課の所管ですが、大変いいので合同で促進したいとのことでした。

以上、甚だ簡単ですが、産業建設常任委員会の報告を終わります。

○議長（佐野 故雄君） 次に、社会厚生常任委員会委員長 池田淳子君。2番。

○社会厚生常任委員長（池田 淳子君） 閉会中の社会厚生常任委員会の所管事務調査の報告をいたします。

去る11月5日、教育長ほか教育委員会部局の所管課長の出席を求め、教育委員との意見交換を行いました。

まず、教育委員長と教育長からの挨拶の後、各課長より現状と課題について説明を受け、その後、意見交換に入りました。

中央公民館は、現在350席ほどで、椅子は行事ごとに出し入れしなければならず、駐車場も非常に手狭であることから、文化ホール建設の要望も多く聞かれるようになりました。

また、学校給食センターは運営の一部を民間に委託したものの建物自体が老朽化をしており、新たに建設をするのか、近年議論されております。

萬里図書館も蔵書の増加により閲覧場所が手狭であることや、駐車場の不足など課題を抱えています。

これらの課題は、いずれも新たに建設することで解決できることではありますが、そうすると建設場所や建設にかかる大きな予算が必要となるので、これらの課題については町全体で議論し検討していかなければならないというのが共通の意見でありました。場所については、テキサス跡地を活用できないか、また、文化ホールと図書館を併設できないかなどの意見が出されました。

さらには、来年度、南端小中学校の問題で、小学生がいなくなり、中学生も計2名となることから存続の危機に面している問題についても、活発な議論が交わされました。

また、当常任委員会委員より、文化財について個人で持っている歴史的資料などを保管できる場所が必要ではないかとの意見が出され、教育委員の方たちにも共通の認識として持っていただいているようでした。

こうした意見交換を定期的に行うことにより、抱える課題や進むべき方向性など情報を共有できる利点があることを踏まえ、今後も継続していくことの必要性を感じました。

以上、甚だ簡単ではございますが、閉会中の社会厚生常任委員会の報告といたします。

○議長（佐野 故雄君） 次に、議会改革調査特別委員会委員長 佐藤二郎君。12番。

○議会改革調査特別委員長（佐藤 二郎君） 議会改革調査特別委員会は、議会閉会中に継続調査となっており調査を、去る11月11日、委員全員出席のもと開きましたので、その報告を申し上げます。

今閉会中の調査は、さきの議会全員協議会で確認いたしました議会基本条例について検討することにいたしました。

まず、はじめに、委員会前に調査、収集した他市町の基本条例を事前配付し熟読してもらい、「基本条例とは」から始まり調査をいたしました。各市町の条例を見ますと、1、最小限で簡単に必要事項だけを明文化したもの、2、条文で詳しく取り上げたもの、さらに附則をつけたもの、3、条文、条項を詳しく明記されたものと3つに分類されることを確認いたしました。方法の面で違いがあったことがよく理解されました。

また、資料収集した全ての市町の条例内容は、ほぼ同じようにつくられており、どのようなものをどこまで取り入れていくべきか意見交換をいたしました。今委員会では、意見の集約、取りまとめまでには至りませんでしたので、今後のテーマとすることにいたしました。

次に、今後のスケジュールについて検討いたしました。

調査検討も、残すところ少ない時間となりましたが、最終的には今任期中に日出町議会基本条

例の制定に向けて、まずもって日出町議会基本条例策定特別委員会を改選後、直ちに設置する、平成26年度中の制定を目指す、この2点を議会全員協議会において決定し、次期に申し送ることを委員会の決定事項といたしました。今後、議会全員協議会で意見を集約して内容等調査を進めていきたいと思っております。当委員会は調査特別委員会のため——何度も申し上げます——決められない委員会ですので、町民に開かれた議会、町民に理解される議会、そして町民の負託に応えられる議会にみずから変えていくため、議員全員の御意見、御協力をお願いするところでございます。

以上、閉会中の議会改革調査特別委員会の報告といたします。以上です。

○議長（佐野 故雄君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 森昭人君。7番。

○議会報編集特別委員長（森 昭人君） それでは、議会報編集特別委員会の報告を申し上げます。

議会報編集特別委員会は、閉会中の10月16日、21日の2回、委員会を開催いたしまして、議題日より第94号の編集を行い、10月31日に全戸配布をいたしましたところであります。

また、9月30日、10月1日に全国町村議会議長会主催の第79回町村議会広報研修会に委員全員で参加をいたしましたので、その概要を報告いたします。

全国の町村議会から400人を超える広報編集委員、議会事務局職員が参加をいたしまして開催をされました。

まず初日は、文章表現インストラクターの山田ズーニー氏が「通じる・人を動かす！文章を書く」と題し、武蔵野美術大学教授長澤忠徳氏が「広報紙面デザインの基礎知識—グリッドフォーマット活用とレイアウト—」と題し、また、写真家神島美明氏が「デジタル時代の写真術」と題した講演に参加をいたしました。

2日目、広報コンサルタントの深沢徹氏が「議会広報クリニック」と題しまして、全国8町11村の議会だよりを、実際にクリニックを行いながらの講演で、しっかりと勉強をさせていただきました。

議会だよりの編集も、今任期中、今12月定例会の内容を報告する第95号の発行を残すのみとなりました。この研修の成果を生かして、より読みやすい、わかりやすい議会報の編集に、最後まで委員協力して取り組んでいきたいと思っております。

なお、研修内容の詳細につきましては、お手元にお配りをしてあります研修報告書をごらんいただければと思っております。

以上で、簡単ですが、議会報編集特別委員会の報告を終わります。

○議長（佐野 故雄君） 次に、暘谷駅周辺整備対策特別委員会副委員長 池田淳子君。2番。

○暘谷駅周辺整備対策特別副委員長（池田 淳子君） 白水委員長が病欠中のため、委員長にかわ

り、閉会中の暘谷駅周辺整備対策特別委員会の報告をいたします。

去る11月25日、町長、都市建設課長、商工観光課長、財政課長補佐の出席を求め、暘谷駅周辺整備について説明を受けました。

まず、都市建設課より、これまでの経過についての説明がありました。JR暘谷駅周辺は、昭和62年に日出町中心市街地整備計画が策定され検討が始まりましたが、バブル経済の崩壊に伴い計画の見直しを行い、平成13年に土地区画整理事業により基本計画が策定され、JR等関係機関と協議を進めていました。しかし、合併協議会からの離脱により区画整理事業は困難と判断し、現在の個別事業による整備を行っているとのことでした。

駅周辺の施設内容については、北口、南口両駅前に広場を設置し、西側には40台規模の駐車場を設置するとのことでした。自由通路は駅利用者に限らず、通行のみでも利用できるよう歩行者専用通路として設置するとのことでした。

委員からの、駐車場は有料なのかとの質問に対し、有料を予定しているとの答弁でありました。

今後のスケジュールについては、南口広場用地を25年度中に買収予定であり、自由通路、構内のホーム拡幅については、JR九州と測量設計の実施協定書を12月中に締結したいとのことでした。自由通路、駅構内の工事についてはJR九州に委託となり、平成26年度末までに工事協定を締結し、南北駅前広場と駅舎については、現在、実施設計を委託中とのことでした。全ての完成は平成27年度末を予定しているとのことでした。

続いて、商工観光課から高校跡地のグラウンド部分についての事業提案があり、それを受けて暘谷駅・高校跡地利活用事業提案審査委員会が10月31日に開催された旨の説明がありました。

審査委員会の人員構成、人数、当日会議の中で出された意見の報告に続き、審査委員会の取りまとめとして会議で出された意見を町から提案者へ要望すること、ただし、提案者が事業提案を取り下げないように慎重に行うこと、また、事業者との協議が進み契約できる段階で、再度、審査委員会を開催し経過報告等を行うこととの意見が取りまとめられました。

また、当委員からは、2階部分に文化ホールや図書館は考えられないか、テナントはこれで決定なのか、ファストフードなどの食事ができるところがほしいという若い人の意見もあるが検討できないかなどの意見が出されました。

文化ホールについては駐車場の確保ができないので難しいが、図書館については可能性があり検討しているとのことでした。テナントについては、必ずしも決定しているわけではなく、町内業者の出店の余地もあるとのことでした。また、食事のできる場所については、提案者に要望しているとのことでした。

以上、甚だ簡単ではございますが、閉会中の暘谷駅周辺整備対策特別委員会の報告といたします。

○議長（佐野 故雄君） 以上で委員長報告を終わります。

質疑・討論・採決

○議長（佐野 故雄君） これより、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐野 故雄君） なければ、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐野 故雄君） なければ、これで討論を終わります。

お諮りします。ただいま報告のありました各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査の件は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐野 故雄君） 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会、特別委員会における審査及び調査等の件は、委員長の報告のとおり決定しました。

日程第6. 発委第8号

日程第7. 議案第63号

日程第8. 議案第64号

日程第9. 議案第65号

日程第10. 議案第66号

日程第11. 議案第67号

趣旨説明並びに提案理由の説明

○議長（佐野 故雄君） 日程第6、発委第8号日出町水道水源保護条例の制定についてから、日程第11、議案第67号工事委託に関する協定の締結についてまでの発委1件、議案5件を一括して上程し、議題とします。

提出者から趣旨説明並びに提案理由の説明を求めます。

発委第8号日出町水道水源保護条例の制定について、趣旨説明をお願いします。産業建設常任委員会委員長 藤井博幸君。3番。

○産業建設常任委員長（藤井 博幸君） 発委第8号日出町水道水源保護条例の制定についての趣旨説明を申し上げます。

自然に恵まれた日出町の中でも豊岡の出ル水より流出する天然水は、言うまでもなく貴重な町民の財産である。上水道の半分以上を賄う水を守り後世に残すことは、我々町民の重大な責務で

ある。

しかしながら、近年、有害物を排水する事業所や大量取水を行う外国資本の進出等が懸念されるところである。これらの懸念を払拭し、町民に安心して飲料水を使用してもらうために、今回、従前の条例を23年ぶりに全部改正するものであります。

○議長（佐野 故雄君） 次に、議案5件の提案理由の説明を求めます。町長、工藤義見君。

○町長（工藤 義見君） 提案理由の御説明を申し上げます。

本定例会に御提案申し上げますのは議案5件であります。以下、順次その概要を御説明申し上げます。

まず、議案第63号平成25年度日出町一般会計補正予算（第4号）についてであります。

今回補正します額は1億1,628万3千円で、補正後の予算総額は94億5,809万9千円となります。

その主な内容につきましては、民生費、福祉サービスの利用者増加により、障がい者介護給付費や障がい児通所支援給付費を増額計上しております。

衛生費では、使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律の施行に伴いまして、その体制を構築するため、回収ボックスや保管倉庫等の調達費用を計上しております。

商工費では、戦争遺跡を後世に残し、生命と平和のとうとさを多くの方々に知っていただくため、人間魚雷「回天」のレプリカ作製費用を計上しております。

土木費では、通学児童、生徒の安全・安心を確保するための町道維持改修費や、老朽化に伴う公園遊具の更新費用を計上しております。

教育費では、藤原小学校進入路改修費及び中央公民館等の施設改修費を計上しております。

今回の補正予算の財源としましては、国・県支出金や基金繰り入れにより財源措置をしております。

次に、議案第64号平成25年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、決算見込み額により療養給付費、後期高齢者支援金、平成24年度実績に基づく返納金等の増額分を計上し、1億670万7千円を増額補正するものであります。

次に、議案第65号平成25年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、浄化センター汚泥施設改修費の債務負担行為を設定しております。

次に、議案第65号平成25年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）につきましては、後期高齢者医療広域連合への納付金を追加計上し、57万9千円を増額補正するものであります。

次に、議案第67号工事委託に関する協定についてであります。

日出町浄化センターの汚泥施設工事につきましては、事業認可計画に伴い、日本下水道事業団

の技術援助を受け工事を行っていく必要があるため、工事委託費に関する協定の締結につきまして議会の議決を求めるものであります。

以上、本定例会に御提案申し上げます議案につきまして、甚だ簡単であります御説明申し上げます。何とぞ慎重な御審議を賜りまして御賛同くださいますようお願い申し上げます。

○議長（佐野 故雄君） 町長。

○町長（工藤 義見君） 最後のほうの、議案第66号を65号と申し上げました。謹んで訂正させていただきます。よろしく申し上げます。

○議長（佐野 故雄君） 趣旨説明並びに提案理由の説明が終わりました。

散会の宣告

○議長（佐野 故雄君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐野 故雄君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれで散会することに決定しました。

これで散会します。御苦労さまでした。

午前11時00分散会
